

## 事例研究

由崎 令子

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

品質保証部 技術科

## プロジェクト環境を考慮した設計品質評価手法についての考察

## 講演概要

下流工程（テスト段階）の品質評価方法は、過去の実績と経験から評価手法としてプロセスが確立されつつある。しかし、低コストでより良い品質のシステムを提供するためには、より上流工程からの品質確保が必要である。しかし、下流工程のテストによる検出障害をベースとした品質評価手法を単純に上流工程に適用しても、お客様との関係やメンバのスキルなどプロジェクトの環境に左右される要因が下流工程に比べ大きく、データの確度に懸念があり適切な品質評価を行うことが難しい。本稿ではプロジェクトの環境や特性に着目した設計品質の評価方法について、プロジェクトの環境条件を定量化した評価手法について提言し、適用結果について考察する。

## 【目次】

1. 問題提起（はじめに）
2. 品質評価の現状
  - ーレビューとテストの違い
  - ーフェーズと要求の安定度の関係
  - ープロジェクト成果物に影響を及ぼす要因
3. 設計品質評価のプロセスと課題
4. プロジェクト環境を考慮した設計品質評価の提案

5. 設計品質評価手法の確立アプローチ

－アプローチの概要

－設計品質評価手法の確立

6. 設計品質評価手法の評価

－第一次評価（完了プロジェクトでの適用）

－第二次評価（進行プロジェクトでの適用）

7. 今後の課題（おわりに）

**S1d**

7月28日

9：30～10：15

会議室D